

252
Go!

あぶたん つうしん



仙台南部流域治水出張所だより～♪



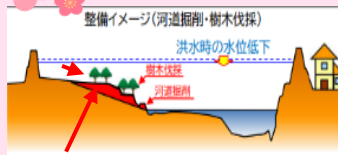
発行日：令和7年2月28日

発行：国土交通省 東北地方整備局 仙台河川 国道事務所 仙台南部流域治水出張所
〒989-2441 岩沼市館下1丁目2番9号 ☎0223-22-2801 FAX:0223-22-2802

佐倉地区

阿武隈川下流佐倉上流地区河道掘削外工事 完成！

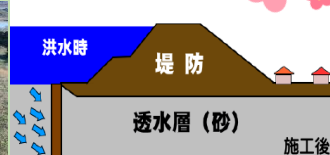
巨理地区



この部分にも川の水が流れるように土砂を掘削して、川に流れる水の量を増やします。



施工前



鋼矢板を打込み、川からの浸透水を低減させます。



掘削中



完成



矢板打ち込み中

現場代理人さんたちに聞いてみよう♪ どんな工事でしたか？

施工会社：千田建設(株)

(佐倉地区)

命と暮らしを守る防災減災工事、阿武隈川水系流域治水プロジェクトとして洪水被害を防ぐため、河川敷の樹木伐採と堆積した土砂を掘削し、水の流れをスムーズにする工事を行いました。掘削した土砂の運搬のため、繁忙期には近隣区も含め延べ100～200台のダンプトラックが行きかう工事でした。

地域の皆さまに不愉快な思いをさせない事を第一に考え、運転手の安全意識とマナーの向上、現場出入口や運行経路の道路清掃、地元区長を通じてのチラシ配布の他、現場や土砂置場周辺の近隣住民の方には、直接伺って工事の理解を得るよう対応しながら施工を進めました。

(巨理地区)

水害に強い堤防を作るため浸透対策工事として、鋼矢板の打込みと築堤盛土を行う工事でした。矢板の打込みは、民家も近いことから、低騒音、低振動の機械を選定して施工しました。

築堤盛土については、河道掘削した土を盛土材として有効利用し施工しました。施工中は、地域の皆さまから「すごい機械だね」「頑張って」などの声を頂き、良好な関係を確立し施工できました。

いずれの地区も、地域の皆さまのご協力のもと、安全の工事ができたと感謝しております。この度はありがとうございました。



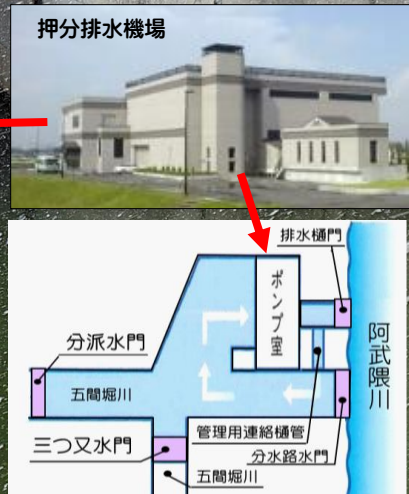
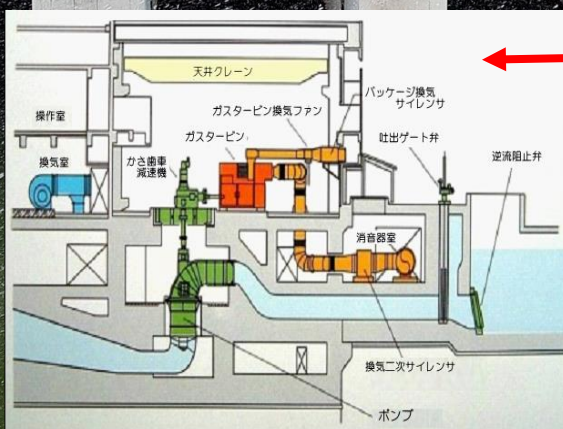
現場代理人
高橋 真也 さん

監理技術者
山口 雅博 さん

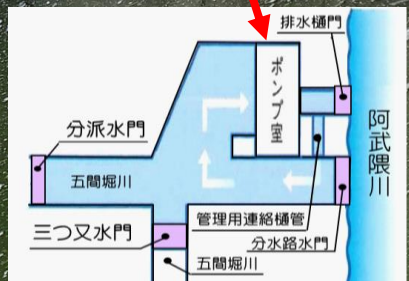
押分排水機場の排水ポンプ確認点検とは？

2月7日(金) 押分排水機場の排水ポンプ確認点検が行われました。これは年に1度行われる排水機場の機能維持を目的としたポンプ動作確認点検です。

動作確認点検は、実際の洪水時に問題なくポンプが稼働するように備えるために実施します。五間堀川の水を管理運転ができる水位まで貯め、本来、阿武隈川へ排水するルートではなく、バイパスゲート(管理用連絡樋管)を使用して、水が循環するルートを使って管理運転を行います。



押分排水機場



1月28日 令和6年度水門等水位観測員講習会が開催されました。

水門等水位観測員さんは、平常時には月点検（機器のチェックと動作確認）、洪水時には本川の水が宅地側に逆流しないようにゲート操作を行い、30分ごとに量水標による水位観測を行います。仙台南部流域治水出張所の管内には、6箇所の樋門樋管と2箇所の水門があり、各箇所2名の観測員さんが任命されてます。今年度の講習会では、観測員の皆さんがより安全に仕事ができるように、行動の確認、樋門等の操作方法、点検と故障対応についての講習を受け、最後に意見交換会（不測事態等における対応等の考察と解説）が行われました。『こんな時、あなたならどうする？』というクイズ形式。ご自身やご家族の安全確保出来てから行動！単独行動は禁止！必ず2人で行動！必ず出張所へ連絡！を前提に、東日本大震災の時の状況を思い出しながらの活発な意見交換会となりました。



IHIさん♡清掃活動 ありがとうございました。

1月24日（金） 11月から阿武隈大堰ゲートの改修工事を行っている株式会社IHIインフラ建設さんが、総勢15名で、阿武隈大堰の右岸側の清掃活動を行っていただきました。IHIインフラ建設の皆さん、寒い中、清掃活動ありがとうございました。ゴミをポイッと捨てなければ綺麗な風景が守れるっちゃ♪皆さん、マナーを守って、ゴミは持ち帰るようにしましょう。



ぼくを
クリックすると
東日本大震災の
パネルデータが
見られるっちゃ



3.11 忘れない…

あれから13年。人は忘れる生き物と言われているけど、忘れない、忘れられない、忘れたくない。

東日本大震災の記憶を未来に繋いで、未来の命を守ろう。